

東葛モラルアップ通信 令和6年11月号



チーム東葛飾、子供たちの未来のために。～育成・共創～

東葛飾教育事務所・モラルアップ推進会議

今月のテーマ 「体罰・不適切な指導の禁止」

年間テーマ：第三者の気づく力の醸成

今月のモラルアップ通信のテーマは「体罰・不適切な指導の禁止」です。各学校においては、学校行事をはじめ成績処理等様々な業務が重なる時期ではないでしょうか。そのような時期にこそ、自分の言動が意図せず児童生徒の尊厳を傷つけてしまうことがないように、日ごろの自分の指導を振り返ってみましょう。

1 懲戒処分の指針の一部改正（令和6年4月1日）

NEW

千葉県教育委員会は懲戒処分の指針を一部改正しました。

【旧】体罰により児童生徒に傷害を負わせた職員は、停職、減給、又は戒告・・・



【新】体罰を行った職員は、停職、減給、又は戒告・・・

量定の決定には傷害の程度等も考慮されます

【旧】侮蔑的な言動により児童生徒に精神的苦痛を負わせた場合は、体罰の量定に準じて扱う。



【新】児童生徒の尊厳を損なうなどの不適切な指導を行った職員は、体罰の量定に準じて扱う。

児童生徒の尊厳（アイデンティティ・価値観・信条等）を損なう指導＝不適切な指導！

2 不適切な指導と考えられ得る例

(1) 暴言

- ・「邪魔だ、出ていけ」
- ・「これじゃ〇年生（下の学年）と一緒にだね」
- ・「お前は最低な奴だ」
- ・「こんな簡単な問題もできないのか」



(2) 行為

- ・忘れ物や提出物の未提出を減らすために、できていない児童生徒の名前を教室に貼り出す
- ・プリントを破り捨てたり、机や椅子を蹴飛ばしたりする
- ・試合で負けたこと等に対して、連帯責任で全員を丸刈りにさせる
- ・給食を完食できるまで無理に食べさせる、必要以上にプレッシャーをかける 等

3 千葉県で懲戒処分となった体罰・不適切な指導の事例（令和6年度）

- ・管理職から、生徒への不適切な指導について複数回指導されていたにも関わらず、その後複数回の場面で、部活動指導中に男子部員複数名に対して侮蔑的な言動をした。

- ・市教育委員会から、不適切な指導について指導されていたにも関わらず、男子生徒に対して、頬を3回叩いたり、肩から首付近を掴んで揺さぶったりする体罰を行った。
- ・部活動中、男子生徒に対して腹部を蹴る体罰及び生徒の尊厳を損なうような不適切な指導を行った。

4 体罰・不適切な指導を「自分がしない」+「自校職員がしない」ために

(1)考え方を常にアップデート！

多様性に対する考え方やインターネットでの情報発信のスピード等、社会はめまぐるしく変わってきています。先生方も、「自分が学生の頃に受けた指導」、「今まで実践してきた指導」を振り返って、「本当に今の時代に合っているのか、保護者が見ている前でもできる言動か」を考え、自分自身の考えを常にアップデートしていきましょう。

(2)指導の際は役者に！

昔からよく言われていることですが、「怒る」と「叱る」の違いを意識していますか？

- ・「怒る」：自分の怒りやイライラの感情をぶつけること
- ・「叱る」：相手のためを思って、アドバイスや注意をすること



児童生徒に一時の怒りの感情をぶつけても、恐怖感や侮辱感を覚えるだけで、成長にはつながりません。怒りの感情をグッと抑えて（＝アンガーマネジメント）、時には役者として叱る指導をしたり、必要に応じてフォローする役割なども意識したりしましょう。

(3)第三者の視点を持つ！

周りの先生方の指導を見て、「ちょっと言葉が強くないかな」、「真意がちゃんと伝わっているかな」などと感じた経験はありませんか？その場合、指導者本人はその指導の誤りに気付いていないことが少なくありません。冷静に見て気づいた人が一声かけてあげるだけで、事態が深刻化することを防ぐことができます。よく言われる「報連相」だけでなく、「雑相（雑談や相談をしやすい雰囲気づくり）」を心がけ、体罰・不適切な指導を「自分がしない」ことはもちろん、「自校の職員がしない」 雰囲気を全職員でつくっていきましょう。



5 自分と周りの職員の言動や、職場環境を振り返ってみましょう (◎・○・△)

1	自分の指導や考え方について常に振り返り、アップデートしている。	3	職員間で良好なコミュニケーションがとれる職場である。
2	「あれ？」と思う指導をした同僚職員に対して声をかけている。または管理職等へ伝えている。	4	不適切な指導を絶対しないよう学校全体で取り組む雰囲気がある。

6 必ず「良いことも」見られています

このイラストのこの部分に気づいていますか？児童生徒や保護者、地域の方々は、先生方の日ごろの「良いことも」必ず見てくれています。先生方が長い時間をかけて築いてきた信頼を、一時の怒りの感情による指導で台無しにしてしまうことがないように、全職員で頑張ってください！

